



満開予定の桜は、残念三分咲き



鎮守 大宮八幡宮に集合



TOBEオーベルジュリゾートの懇親会



神主さんのユーモア溢れるお話

つよつよさんのお楽しみ日記70

「喜寿祝い桜の宴」の巻

三月二十九日、私達砥部中学校十二期生(昭和三十三年度卒)の喜寿祝いが「TOBEオーベルジュリゾート」で行われました。

当日は子供の頃遊んだりお祭りの思い出がいっぱいの大宮八幡宮に集まり参拝、宮司さんから御礼とお守りを頂いた後、記念撮影をしました。

通谷池のほとりにある「オーベルジュ」は春は桜、秋は紅葉の町民憩いの場が満開の最高のローケーション予定でしたが残念ながら三分咲きでした。

皆んな顔はそれなりになっていますが面影はちゃんと残っておりすぐに哲ちゃん、雅ちゃん、初ちゃんと名前が飛び交います。そのうち剛兄(つよ)に昭やん、まんやんとあだ名も出てきます。

あつという間に中学生時代の多感な少年少女に戻りました。

私達の学生時代は今では考えられないケタハズレのいたずらや思い出が沢山あります。二年生の時、あるクラスでは男子生徒のほとんどが昼から授業をサボって映画を見に行ったこと。(もちろん先生に連れ戻されました) 昼休みに当時珍しかった先生のバイクに乗せて(運転)もらっているうちに運動場の真ん中で炎上し丸焼けになったこと。

三年生の時にはタイヤをゴミ焼却炉で燃やし炉が壊れてしまったこと等今の時代なら大問題になっていることもありました。

後期高齢者になった今では申し訳ない遠い昔の話です。いつになっても同級生はいいものです、あつという間に時間も過ぎて次回は傘寿の再会を誓って楽しい会も無事お開きとなりました。



中村剛志